

4 計画策定に向けた課題整理

本町は、優れた自然環境の中で、豊富な農水産物を食する機会に恵まれていますが、一方で、カロリー摂取過多、塩分の摂りすぎなどから生活習慣病のリスクを抱える可能性があります。

特に、糖尿病へ移行するリスクを抱えた人が多く、高血圧については後期高齢者を中心に基礎疾患として割合が高く、脂質異常症の有病者が増加しており、これらを危険因子として心疾患、脳血管疾患を引き起こしています。

また、成人の運動習慣者の割合が少ないことから、運動機会の不足がうかがえます。

乳幼児などの子育て中の母親、父親にも喫煙者がみられ、飲酒率や喫煙率も比較的高く、がんや様々な生活習慣病の要因となっています。

児童生徒では、睡眠不足や気分が落ち込むなどの経験を有した人が比較的多くみられ、むし歯や歯肉炎の有病者が多く、幼児期からの食生活が影響していることが推察されます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から、がん検診などの受診率が低下しましたが、がんなどの生活習慣病の発症予防と重症化予防、高血圧・糖尿病・脂質異常症の予防、これらの基礎疾患の重複者、人工透析に至る糖尿病性腎症などの腎不全の予防には、必須であるため、受診勧奨、及び、未治療者への積極的な保健指導などが重要となっています。

以上から健康課題を次のように整理します。

■課題整理

- がん検診、特定健康診査等の健診（検診）の受診率向上等による生活習慣病の発症予防
- 脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病等の生活習慣病の重症化防止
- 栄養・食生活の点検、見直し
- メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少
- 乳幼児健診の受診率向上と妊娠中の飲酒・喫煙及び子どもの生活習慣に関する課題への適切な情報発信・知識の普及
- 全ての世代のスポーツの推進、高齢者等のフレイル予防
- 若い世代からのこころの健康の維持、相談窓口の継続・周知